

水野忠邦 大名、老中。旺盛な出世欲で老中首座に至り、<天保の改革>の指導者となったが、直ぐに失脚。

みずのただくに

ワタガ 正月・1794 = 江戸で唐津藩主水野忠光の庶子に生まれる。

アヲカ船来航始1803 = **9歳** :

兄の死去により世子となり、

ウヲ船狼藉・1807 = 13歳 : 元服し、従五位下式部少輔に叙任。

高田屋拿捕・1812 = **18歳** : *父の隠居で、唐津6万石を襲封するや、藩政改革の断行を宣言し、藩主親裁の姿勢をとる。

幕府の要職につくことを狙って、
・ ・ ・ ・ ・ 1815 = 21歳 : 奏者番となり、幕閣への登竜門に立ったが、
長崎警護役だった唐津藩のままでは、幕閣の一員となれないため、転封運動を行い、
杉田玄白没・1817 = 23歳 : *減収をおそれた家臣の猛反対を退けて、遠州浜松へ転封、寺社奉行となる。
水野忠成老中1818 = 24歳 :

伊能図完成・1821 = **27歳** :

異国船打払令1825 = 31歳 : 自ら"青雲の要路"と称した大坂城代に昇進、
・ ・ ・ ・ ・ 1826 = 32歳 : ついで京都所司代・侍従となり、

シノ丸事件・1828 = 34歳 : ついに西ノ丸老中に昇任した。

富籤流行・1830 = **36歳** :

高島砲術・1834 = 40歳 : 水野忠成のあとをおそって本丸老中となり、

大塩平八郎乱1837 = 43歳 : 勝手掛老中を経て、

蛮社の獄・1839 = **45歳** : *老中首座に進み、幕政の最高責任者となった。忠邦の栄達は、その才幹を愛した水野忠成や将軍家斉らの推挙によったため、その在世中は改革に手を下すことができなかったが、

天保改革始・1841 = 47歳 : 家斉が死んだ直後から改革派を結集し、将軍家慶の名をもって幕政改革に着手した。改革は多方面にわたり空前のきびしさで進行したが、その中でとくに株仲間解散令と上知令が改革の新しい側面を代表している。前者は新しい産業統制、後者は領主的土地所有の再編、強化を意図した政策であり、ともに幕府を絶対主義に傾斜させる客観的意義を担っていた。

順天堂始・1843 = 49歳 : しかし反対勢力の攻撃により、幕閣を追われ、改革はわずか2年余で終結した。

天保改革終・1844 = 50歳 : ふたたび老中首座に返り咲いたが、権力を振るうことができずに、

順天堂始・1843 = 51歳 : *辞職。天保改革の政治責任を問われて減封、羽州山形への転封などの処罰を受け、

阿部正弘首座1845 = 53歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1848 = **54歳** :

尊徳報徳論・1851 = 57歳 : 失意のうちに没した。